

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	陶磁器デザイン	2	3	セラミック	選択	デザイン技術 海文堂

1. 学習の到達目標

陶磁器をデザインする上で必要な伝統的加飾に関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に創造し応用する能力と態度を育てる。また、最新技術のコンピュータグラフィックスによる陶磁器デザインも合わせて学習し、伝統技法と最新技術の融合を図る。

◆コンピュータによるデザイン

1. イラストレーター・フォトショップを理解する。
2. オリジナルの名刺をつくることができる。
3. セラミック科校外展用のポスター制作ができる。

課題研究集の表紙制作ができる。

◆陶板への彫刻および各種装飾技法の習得。

1. 彫刻の彫り方の種類とその表現方法を理解し、その技術を習得する。
2. 彫刻と下絵付の技法を併用し、その表現効果を学ぶ。

2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・コンピュータによるデザイン	① 授業態度が良好であるか。 ② 作業が適切に行われ、課題が期限内に提出されているか。 ③ 時代性に適した学習に興味、関心を持って取り組んでいるか。	① 一連の工程の手順が適切であり、理解しているか。 ② 課題が適切に制作されている。	① イラストレーター、フォトショップの基礎技術をマスターしているか。 ② 陶磁器に適した文様及び形状を考案できているか。	① 一連の工程をしっかりと理解し、使いこなせているか。 ② コンピュータの適切な利用法を理解しているか。
・陶板への彫刻 ・角柱(花器)への彫刻 2. 彫刻の彫り方の種類とその表現方法を理解し、その技術を習得する。	① 実習に適した服装であるか。 ② 授業態度が良好であるか。 ③ 実習が適切に行われ、課題が期限内に提出されているか。 ④ 出席状況が良好で、掃除などが適切になされているか。	① 一連の工程の手順が適切であり、理解しているか。 ② 課題が適切に制作されている。	① 筆などの道具を正確に使用、管理できているか。 ② 彫刻刀の使い方を身に着けているか。 ③ 彫り方の種類と表現効果を理解し制作しているか。	① 素地の扱い方・彫刻刀の使用法を理解しているか。 ② 彫り方の種類(線彫り・浮き彫り・片切彫り)とその表現効果を理解しているか。
評価の方法	行動観察、制作態度、課題作品、課題内容、提出物の状況、などを総合的に判断して評価します。			

3. 教科からのメッセージ

陶磁器をデザインする上で必要な伝統的加飾に関する基礎的な知識はもとより、デザインソフトなどを使用し、実際に創造する能力と態度を育てる科目です。

年間指導計画 科目名 陶磁器デザイン 2 単位 3 学年

学期	月	学習項目 (単元・考査等)	主な学習内容
1 学 期	4	1. イラストレーター・フォトショップの基本的操作	1. コンピュータを利用し、イラストレーター・フォトショップの基本的操作を理解する。
	5	2. 名刺づくり	2. 名刺の制作
	6	3. セラミック科校外展のポスター制作	3. 画像処理や文字組などを応用し、セラミック科校外展用のポスターをデザインする。優秀な作品は、実際にポスターや印刷物として使用する。
	7		
2 学 期	9	生地への装飾技法 ・彫刻 ・描き落とし ・象嵌 ・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・陶板を使用し、各装飾技法を学ぶ ・加飾（描き落とし、象嵌） ・施釉
	10		
	11		
	12		
3 学 期	1	課題研究集の表紙制作	コンピュータを利用し、課題研究集の表紙をデザインする。優秀な作品は、実際にポスターや印刷物として使用する。
	2		